

【滋賀県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
近江八幡市、東近江市	大中の湖	「大中すいか」の直売による高収益農業の実践	1	H28.12	2
東近江市	栗見出在家	「魚のゆりかご水田米」で地域と琵琶湖を元気に	2	H30.03	4
近江八幡市	内野	経営の多角化と生きがい農業で誰もが活躍できる集落に	3	H31.03	5
草津市	草津用水・草津用水2期・第2段	市民生活に潤いをもたらす農のあるまちづくり ～農業水利施設の整備～	4	R3.03	7
犬上郡多賀町	芹川	農業用ダムの耐震補強による災害の未然防止と安全安心の確保！	5	R4.03	8
東近江市	蒲生南部	地域ぐるみで水田を汎用化！大豆の契約栽培拡大で経営を安定！	6	R5.03	9
東近江市	尻無北部	ICTの導入など先進的な基盤整備により儲かる農業への転換を実現	7	R6.03	10

【工夫のポイント】

- 暗きょ排水の自力施工により、ブランド化された「大中すいか」等の**高収益作物の安定生産が実現**。
- **地域の営農者自らが出資をし、直売所を設置**。すいか等の高収益作物を消費者へ直接販売することで、**高い所得を確保**。
- 儲かる農業の実践により、**後継者（若手就農者）を安定的に確保**。

基盤

暗きょ排水の施工による高収益作物の安定生産

迅速かつ機動的に事業実施が可能な農地耕作条件改善事業等を活用し、**暗きょ排水を農業者が自力施工**。
これにより、**多種多様な高収益作物の安定的な生産が可能**となった。



すいか栽培



暗渠排水の自力施工

基盤整備 (H24年～)

【整備前】

干拓地という地域特性から、農地の排水が極めて悪いため、水稻以外の栽培が難しく、野菜等を作付しても**安定的な生産が見込めなかった**。



整備前の湿地

【取組地域の概要】

- 位置 おうみはちまんし ひがしおうみし
滋賀県近江八幡市、東近江市

だいなかのこ
大中の湖地区



滋賀県

- 主要作物
・水稻、野菜、飼料作物等

- 主な支援施策
・国営干拓事業(S21～S42)
・産地生産拡大プロジェクト支援事業(H21)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・環境保全型農業直接支払交付金(H23～)
・国営施設応急対策事業(H27～)
・農業基盤整備促進事業(H24～)
・農地耕作条件改善事業(H27～)

生産現場

自由度の高い輪作体系と高品質化の実現

- 暗きょ排水の整備により、すいか等の作物における連作障害の課題に対し、**自由度の高い輪作体系**や**高品質化を実現**。



キャベツ



玉ねぎ

加工・流通

地域の出資による直売所設置と販路拡大

- **地域の農家自らが出資**し合うことにより、**直売所を設置**。
- 現在は株式会社化し、構成員は150名ほどに増加。**直売所の売上げも「大中すいか」の知名度向上とともに3億円超と順調に増加**。

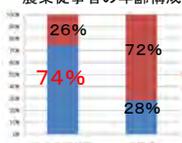


すいかの直売

儲かる農業の実践による後継者の安定確保

担い手

農業従事者の年齢構成



- 専業農家が儲かる農業を実践しているため若い担い手が育っており、**農業従事者のうち、65歳未満の占める割合は約7割**。

【出典：琵琶湖干拓大中の湖土地改良区調べ(H25)】

ブランド作物の直売所販売を通じた販売額の向上と農業所得の確保

- 「大中すいか」は直売所での販売により、流通に係る販売コスト等を抑えることができるため、**高い利益率(約7割)を誇り、約32万円/10aの所得を確保**。

【出典：農家からの聞き取り調査】

(億円) 直売所「愛菜館」の売上げ推移



【出典：(株)びわこだいなか愛菜館 総会資料】

- さらに、4ha/戸の専業大規模営農の実践を通じて、**全国平均の3倍以上の農業所得を確保**。

大中の湖地区と全国平均の戸当たり農業所得の比較



【出典：大中の湖地区は東近江市調べ(東近江市大中町の認定農業者平均)、全国平均は農業経営統計調査】

【工夫のポイント】

- 区画整理されたほ場と琵琶湖岸に位置する立地を活かし、高付加価値化が期待できる魚のゆりかご水田米の生産を地区全域に拡大。
- 企業や大学、水田オーナーを対象とした体験イベント等を開催し、ブランドイメージの向上と地域の活性化を実現。
- 地元食品・酒造メーカーとの連携により、魚のゆりかご水田米を使用したパンや菓子、日本酒の製造・販売等の6次産業化にも着手。

【取組地域の概要】

- 位置 ひがしおうみし
滋賀県 東近江市



くりみでざいけ
栗見出在家地区

- 主要作物
・水稲、麦、大豆等

- 主な支援施策
・団体営ほ場整備事業(S50～S56)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・農業水利施設保全合理化学業(H24～)

営農の効率化と高品質な農産物の生産を実現

区画の拡大に加え、水田の汎用化により、効率的な営農が可能となり、高品質な近江米や小麦・大豆を持続的かつ安定的に生産できるようになった。



基盤整備
(S50年～S56年)

【整備前】

琵琶湖東岸沿いに位置し、湖水面とほ場の高さがほぼ変わらない低湿地であり、区画も小さく不整形で、非効率的な営農だった。



環境保全を通じた高付加価値米を栽培

- 地域の法人が中心となり、地区全域に魚道を設置し、琵琶湖と水田を魚類が行き来できるようにするなど、生態系の再生を目指す「魚のゆりかご水田米」を栽培し、地域ブランド化。
- 農薬と化学肥料を5割以下に削減するなど「環境こだわり農業」を実践するほか、水田オーナーや中学生などの教育旅行の受け入れなど環境学習にも力を入れている。



生産現場

安定的な販売ルートの確立と6次産業化

- 地元JAが中心となって、環境を大切にするストーリーを持った販売に取り組みながら流通・販売ルートを確立。
- 地元メーカーと連携したパンや菓子、日本酒等の製造販売に取り組み、更なる高付加価値化を目指す。



加工・流通

魚のゆりかご水田米のブランド力向上が地域と琵琶湖を元気に

- 魚のゆりかご水田米のブランド力向上により一般米に比べ60kg当たり約11%高い単価で取引。
- 地域内外の非農家や子供達が一括となって取引組んだことで、環境保全や水産資源保護だけでなく、地域農業への関心が高まり、魚のゆりかご水田米を活用した6次産業化の動きが活発化。

地元JAによる60kg当たりの買取り単価(円) (3ヶ年平均値: H25～H27産米)



※いずれもコシヒカリ1等米(生産費同等) 【出典: 滋賀県調べ】

【工夫のポイント】

- ほ場整備を契機に設立された法人に、農地中間管理機構を通して農地を集積・集約。
- マンゴー等の高収益作物の栽培に取り組み、GlobalGAP認証を取得するなど、高品質を担保。
- 少子高齢化が進む集落において、収益性の高い農業を展開するとともに、高齢者や女性の雇用を確保。

基盤

大区画ほ場整備により労力が軽減され経営の多角化を後押し

ほ場整備や暗きよの整備などにより汎用化されたほ場での高収益作物の導入が進み、法人による経営の多角化・安定化が図られている。



【整備前】

昭和30年代に整備された区画は狭小で、水路が用排兼用水路であるため排水不良が生じており、機械化の遅れによる非効率な経営が課題となっていた。

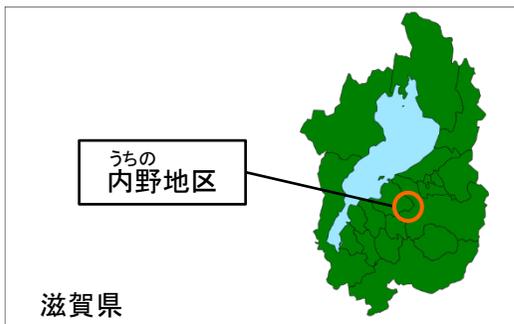


基盤整備

(H5年～H17年)

【取組地域の概要】

- 位置 おうみはちまんし 滋賀県近江八幡市



- 主要作物
 - ・水稲、小麦、大豆、ネギ、マンゴー 等

- 主な支援施策
 - ・県営経営体育成基盤整備事業(H5～H17)
 - ・県営かんがい排水事業(H26～)
 - ・農業基盤整備促進事業(H24～)

生産現場

園芸複合作物の栽培と経営の効率化

- 白ネギ(安土信長葱)や花菜、ヒートポンプを利用したハウスによるマンゴー栽培に取り組み、またGlobalGAP認証を取得するなど、経営を多角化・効率化し、品質も向上。



地域の取組

一億総活躍社会と集落活性化を目指して

- 女性や高齢者を積極的に雇用し、軽作業に従事。特に、マンゴー栽培などのきめ細かい作業は、女性が中心的な役割を担っている。



加工・流通

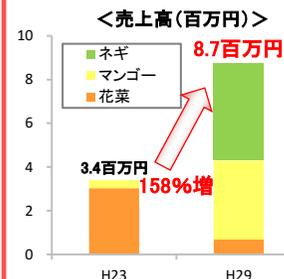
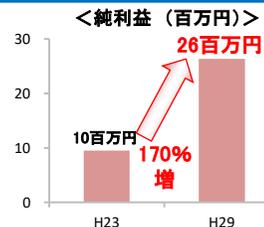
「安土信長葱」販売好調！

- 地域の直売所のみならず、中央卸売市場でもブランド葱として取り扱われている。

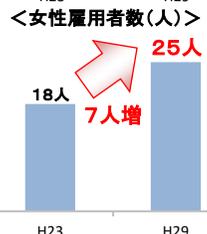


収益力向上で誰もが活躍できる場づくりを目指す(法人A(H23設立)の事例)

- 労力軽減と、経営の多角化・効率化により収益性が大幅に増加(10百万円→26百万円)。



- 新たな園芸作物の導入と生産拡大により売上高は大幅に増。(ネギ、マンゴー、花菜の売上高は3.4百万円→8.7百万円)。



- 女性や高齢者を積極的に採用し、地域の雇用を確保。女性雇用者数については、18人→25人に増加。

【工夫のポイント】

- **基幹的な農業水利施設の長寿命化**を図り、草津地域の持続的で安定的な農業経営の確立を目指す。
- あわせて、琵琶湖などの環境に配慮した**オーガニック農業**や**魚のゆりかご水田**の推進、**農福連携**など多様な主体が関わる農業のさらなる展開、消費者のニーズに応える新たな**草津ブランドの創出**などを進め、草津市が進める『市民生活に潤いをもたらす農のあるまちづくり』に貢献している。

【取組地域の概要】

○位置 くさつし
滋賀県 草津市

滋賀県

くさつようすい
草津用水地区
くさつようすいいき
草津用水2期地区
だいにだん
第2段地区

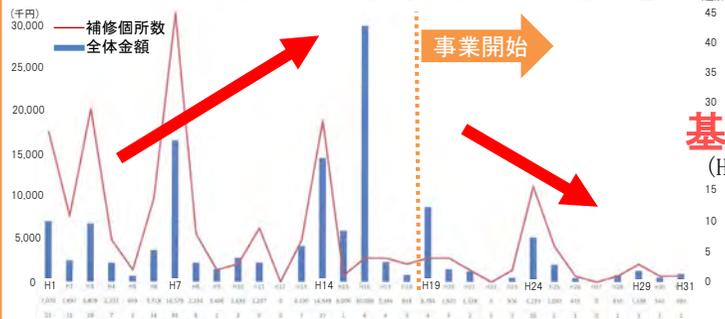


- 主要作物
・水稲、麦、大豆、水菜、だいこん、たまねぎなど
- 主な支援施策
・県営かんがい排水事業 (H19～)

基盤

基幹的な農業水利施設の長寿命化

農業水利施設の改修工事の推進により、年々、補修件数が減少し、補修費など農家の負担が軽減。



基盤整備 (H19年度～)

【整備前】

造成後約50年が経過し、**施設の老朽化**に伴う揚水ポンプの緊急停止や送水管路の破損など、突発的な事故が頻発し、**用水の安定供給を阻害**。



圧送管の破損による被害 圧送管の破損状況 送水管の破損事故

草津ブランドの創出・発信

地域の取組

- 草津市内の地域産業の活性化を目的に魅力的な地域資源を「**草津ブランド**」として**認証**。
- 農産物についても草津メロンや愛彩菜、草津あおばななど、多種多様な品目を認証。



草津ブランド(農水産物、名産品、工芸品)

環境に配慮した環境こだわり農業の展開

生産現場

- 市内の農業生産法人が農薬や化学肥料を一切使わない「**滋賀県産オーガニック米**」を生産。
- 湖辺域では、湖魚が産卵にやってくる「**魚のゆりかご水田**」での**高付加価値米の生産**や、**都市住民との交流**を通して地域が活性化。



施設整備と地域の取組が一体となった生産力の向上

【あおばな】



【たまねぎ】



更なる効率化を目指した農福連携の推進

- 草津市内の**複数の農業者・JAと、地域の福祉作業所とが連携**。
- 3者の役割分担を明確化することで、お互いにメリットがあり、**継続性のある新たな仕組みづくり**を検討中。



「加工用たまねぎ」の選別・調製作業

【対策のポイント】

- ダム造成後60年以上経過し、老朽化が進行するとともに、地震に対する安全性が不足。
- このため、受益農家の作付制限の協力と3か年緊急対策により、短期集中で堤体の耐震化工事を実施。
- 事業実施により、ダムの安全性を確保し農村地域の安全・安心な暮らしを実現。

【取組地域の概要】

- 位置
いぬがみぐんたがちょう
滋賀県 犬上郡多賀町

滋賀県



せりかわ
芹川地区

- 主要作物
・水稲、そば、にんじん など

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	15億3,500万円	H27～R3
うち3か年緊急対策	9億5,700万円	H31～R2

基盤

受益農家と連携した短期集中による耐震化工事の実施

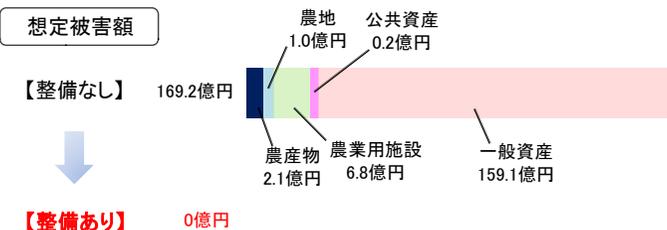
- 3か年緊急対策を活用し、受益農家の協力を得て、短期集中で工事を実施。
・受益農家は、用水が限られることから水稲等の生産を調整。
・工事期間中、ダム落水により、通年施工を実現。
- 耐震化工事にあたり、「砕・転圧盛土工法」(堤体サイズを変えない工法)を採用し、現況の堤体の盛土材とダム湖内底泥土を活用することで、廃棄土砂と工事材料の運搬に係る周辺環境への負担を軽減。
- これにより、ダムの耐震性と遮水性の向上を実現。



対策の

ダム決壊による人家や農地の被害を防止

- 耐震化工事により、災害の未然防止と農村地域の安全・安心な暮らしを実現。
- 災害リスクが軽減された農地では、環境に配慮した環境こだわり農産物の生産が着実に広がる。



【工夫のポイント】

- 以前からJAが中心となり、「すし米」の契約栽培や輸出等、**先進的な取組を地域ぐるみで推進**。
- 営農に支障となるほ場の排水不良の解消に向け、**JA主導で暗渠整備を推進**（整備を希望する法人の取りまとめ、事務支援等）。
- 大手豆乳メーカーと全農が、まとまった汎用化水田が存在する当地域に着目。**豆乳用の新品種大豆「すみさやか」の契約栽培面積が急拡大し、農業の所得向上に貢献**。

基盤

暗渠排水の整備による汎用化でほ場の活用可能性が向上

地元が補助事業を活用する際にハードルとなる**事務作業をJAが行う**ことで、希望する全ての集落営農法人が**暗渠排水を迅速に整備**。



基盤整備

(R2年～)

【整備前】

過去に整備された水田の**排水不良**により、高収益作物への転換等、**営農の新たな展開に支障**。



【取組地域の概要】

○位置 ひがしおうみし
滋賀県東近江市

滋賀県



がもうなんぶ
蒲生南部地域

- 主要作物
・水稲、麦、大豆等
- 主な支援施策
・経営体育成基盤整備事業(S54～)
・農地耕作条件改善事業(R2～)

地域の取組

地域一体となった販路拡大

- 以前からJAが中心となり、「すし米」の契約栽培や輸出等の**先進的な取組を地域ぐるみで推進**。
- JAが**基盤整備の分野でも地域を主導**したことで、まとまった農地で排水改良がなされ、大豆の産地化が進んだことにより**企業との契約栽培を呼び込む**。



担い手

組織間連携と生産体制の強化

- **集落営農組織の法人化**や**若手農業者の組織化**を進めるとともに、研修会などを通じた組織間連携を促進し、**市場ニーズを捉えた生産体制を拡大・強化**。



高収益作物の作付面積の拡大と所得向上

- 全農とJA、大手豆乳メーカーが連携した契約栽培を持ちかけ、**集落営農法人の栽培面積拡大**。
- 豆乳用の新品種大豆「すみさやか」の作付面積は2年で急増し、**出荷量の増(約7倍)に伴い、所得の安定向上に貢献している**。



「すみさやか」の出荷量 (t)



【出典】令和3年度 JA滋賀蒲生町農談会資料

【工夫のポイント】

- ほ場整備を契機に、**農地中間管理機構と連携して、農業法人等に農地利用を集積・集約**。
- 農地の大区画化・汎用化とICTの導入で省力化を達成し、創出された時間で**加工用野菜(なす、きゅうり、みぶな等)を生産**。
- 漬物加工会社等との契約栽培により**高収益作物の安定的な販路を確保**。

基盤

営農の効率化と高品質な農産物の生産を実現



整備後のほ場

自動給水バルブ

- 農地の大区画化に加え、粘性土の**客土により水保ちを改善**。
- 用排水路の**パイプライン化と地下水揚水機の設置による用水の安定化**。
- 自動給水バルブ等の**ICTの導入による水管理の省力化**。

基盤整備

(H30年～)

【整備前】

区画は狭小かつ不整形で、水路や農道も未整備。また水保ちが悪く、**水管理に苦慮**。



不整形かつ狭小なほ場

【取組地域の概要】

○位置 ひがしおうみし
滋賀県 東近江市

滋賀県



しなしほくぶ
尻無北部地区

- 主要作物
・水稲、なす、きゅうり、みぶな等
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業 (H26～)
・農業水利施設保全合理化事業 (H26～)
・農業競争力強化農地整備事業 (H30～)

担い手

法人への農地集積により経営が安定

- 農地中間管理機構と連携し、農業法人等に**農地を集積・集約し、農業経営の安定化**に寄与。



生産現場

スマート農業の取組

- パイプライン化と自動給水バルブ等により、**水管理作業を省力化**。
- ドローンによるセンシングで、より正確な生育状況を把握し、生育状況に応じた肥料散布が可能となったことで**生産性が向上**。
- 自動直進田植機の導入による**作業の効率化**。



スマホでの自動給水バルブ操作



ドローンによる生育状況の把握

省力化により高収益作物の生産が拡大

- ICT水管理の導入により創出された時間を活用し、**高収益作物の生産を拡大**
- 漬物加工会社等との契約栽培により**安定的な販路を確保**。



加工品野菜として栽培！

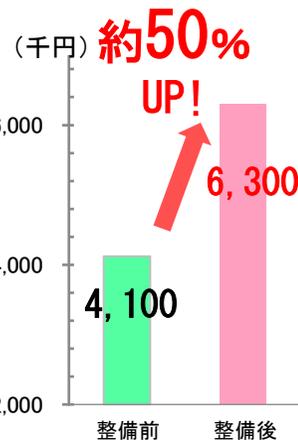


男性・女性皆で力を合わせて集荷作業！



店頭で絶賛販売中！

＜高収益作物の生産額＞
(なす、きゅうり等)



※ 農事組合法人尻無町生産組合における生産額